

令和2年度（2020年度）

事業報告書

令和3年6月17日

社会福祉法人 四幸舎和会

# 法人本部事業報告

## 【令和2年度の総括】

法人合併が始まる大事な年度であったが、新型コロナウイルス拡大が収まらず、4月と1月に緊急事態宣言が発令されるなど、法人各事業所において感染予防に腐心する年度でした。感染に関しては、11月にセブン&チェリー職員1名の感染が確認（濃厚接触者：利用者3名）され保健所指導の下、通所を中止するとともに、徹底した消毒等の対応を行い、その後の感染確認はなかった。くりのみ園において、利用者が熱発すること等もあったがPCR検査を行い大事には至りませんでした。

おおざとの赤いやねで、アシスタント職員による利用者への虐待事案が発生（9月）し、速やかに管理者が関係機関へ通報しました。豊中市虐待防止センターから事情聴取をうけ、10月に書面で身体的虐待の事実があったとの通知を受けました。11月に今後の法人の虐待防止委員会で検証し、法人全体へ周知徹底するとともに、おおざとの赤いやねにおいても再発防止に向けて検証を行いました。

職員のメンタルヘルスに関して、8月から休職し休職期間満了で1名が退職しました。休職期間満了で退職になった初めてのケースで、次年度しっかりと対策を講じていきます。

## 1 令和2年度 運営方針の報告

### (1) 新評議員、新役員体制の開始

法人合併に伴い、理事、評議員を入れ替え、評議員、理事に豊中市から多く役員に変わりました。具体には評議員7名中6名が新たに選任され、第3回定時評議員会において、理事3名があらたに選任されました。

### (2) 新規事業等を推進する

#### ① セブン&チェリー作業所の運営について

4月の定期人事異動で主任1名を加えてスタートし、年度途中でパート職員(2名)を採用して人員体制を整えました。

大阪府重度障がい者地域生活支援体制モデル事業（コンサルテーション事業）に参画し、障がい特性に応じた専門的な支援方法や環境調整の習得に努めました。

#### ② かたやまの赤いやね（仮称）の開設

開発許可申請が下り6月から造成工事に着手し10月に開発検査が終了しました。建設工事は9月に一般競争入札（三者入札参加）を行い95,000千円(税抜)で落札され、10月7日から工事着手し令和3年5月末の竣工予定で進めました。また、工事前に地元との説明会を行い、年度内の工事期間中の苦情等はありませんでした。

#### ③ 相談支援事業の立ち上げ

法人が事業開始の意思決定を行った場合、事業指定する方向で能勢町福祉課と話し合いを行いました。次年度中に事業立ち上げを目指します。

### (3) 人材確保・育成・定着を図る

コロナ禍の中、対面での説明会は行わず、リモート中心で求人活動をおこない、最終的に5名の内定を出しました。11月に内定式を行い、内定辞退がないようフォローアップに努め5名入職という結果になりました。平成29年度から立ち上げた、若手中心の学卒者採用委員会の取り組みが実を結んだと評価しています。(表-1)

	令和2年度	31年度数	30年度数	29年度数
キャリアス合同説明会接触者数		28名		
FACE to FUKUSHI インターンシップフェア	14名	26名		
インターンシップ数	2名	2名	0名	0名
大阪府社会福祉協議会フェア 接触者数				6名
FACE to FUKUSHI 就職フェア 接触数	43名	31名	40名	
法人独自説明会参加者数	9名	17名	10名	0名
採用応募者数	7名	5名	3名	0名
内定承諾数	5名	3名	2名	0名
入職者数	5名	1名	1名	0名

### (4) 社会・地域貢献に積極的に取り組む

配食サービスをくりのみ園(毎週月曜日)、おおざとの赤いやね(毎週火曜日)が継続して参画しました。生活困窮レスキュー事業は2件対応し、地域CSWの活動も田尻地区と久佐々地区を担当し地域のニーズに応えました。

また、中間的就労(就労訓練事業)のケース1名を受け入れ、非雇用型で就労訓練を行い、次年度雇用契約(支援員補助)していきます。

### (5) リスクマネジメントを強化する

令和元年7月31日にくりのみ園で発生した、利用者同士による傷害事故の報告書に基づいて、法人全体で事故防止研修会を開催しました(9月26日 浄るりシアター小ホール)。事故の再発防止のため、報告書にある6つの提言を確認し、今回の事故を風化させないように確認しました。

## 2 職員動静について

くりのみ園へ4月1日に新卒者1名、8月に1名を正規職員採用しました。セブン&チェリー作業所は、2名のパート職員を中途採用しました。

今年度、1月に1名退職(メンタル不調のため)し離職率は2.7%でした。(令和元年度介護労働実態調査:介護職離職率15.3%)に比して大きく低い水準にあります。過去5年間の正規職員の離職率は、(表-2)のとおりです。

(表一2)

年度	期首職員数	退職者数	離職率
H28	30人	1人	3.3%
H29	31人	2人	6.5%
H30	33人	0人	0.0%
R元	35人	2人	5.7%
R2	36人	1人	2.7%

### 3 理事会・評議員会の開催について

第4回定時評議員会を6月に開催しました。また、理事会は書面理事会を含み5回開催しました。議案の内容は(表一3)、(表一4)のとおりです。

【評議員会】

(表一3)

会議名	日時	議案等の内容
第4回 定時評議員会	令和2年 6月18日(木)	第1号議案「令和元年度事業報告書(案)」について 第2号議案「令和元年度決算報告書(案)」について ・社会福祉充実残額報告 ・監事監査報告 第3号議案「新規事業所に係る福祉医療機構からの 借入金」等承認について 第4号議案「令和元年7月31日にくりのみ園で発生した 事故の現状報告」について

【理事会】

(表一4)

会議名	日時	議案等の内容
第1回 (書面) 理事会		第1号議案「生活介護事業所かたやまの赤いやね(仮称) 建設委員会の設置」について
第2回 理事会	令和2年 6月3日(水)	第1号議案「令和元年度事業報告書(案)」について 第2号議案「令和元年度決算報告書(案)」について 令和元年度社会福祉充実残額の報告 監事監査報告 第3号議案「新規事業に係る福祉医療機構からの借入金」等の 承認について 第4号議案「第4回定時評議員会の議案及び開催等」について その他 くりのみ園利用者Hさんの現状報告

第3回	理事会	令和2年 10月21日(水)	第1号議案「かたやまの赤いやね（仮称）の進捗状況」について 一般競争入札結果及び今後の日程 第2号議案「令和2年度補正予算（案）」について 第3号議案「法人第Ⅲ期事業計画（案）の策定」について その他 くりのみ園利用者Hさんの現状報告等
第4回	理事会	令和3年 1月15日(金)	第1号議案「第3回評議員選任・解任委員会へ上程する評議員 推薦書（案）」について 第2号議案「法人第Ⅲ期事業計画（案）の承認」について 第3号議案「新規事業所の施設名」の決定について その他 ①理事長、業務執行理事による業務報告（令和2度） ②コロナ禍の中、社会福祉施設等への応援職員派遣 について ③くりのみ園利用者Hさんの現状報告等 ④今後の理事会等の開催日程について
第5回	理事会	令和3年 3月24日(水)	第1号議案「令和3年度事業計画書（案）の承認」について 第2号議案「令和2年度補正予算（案）及び令和3年度当初 予算（案）の承認」について 第3号議案「特定相談支援事業所 そうだん赤いやね（仮称）」の 開設について 第4号議案「団体役員賠償責任補償制度加入」について その他 ①かたやまの赤いやね関連 ②役員の一部改選に伴う次期役員の選定等について ③人事関係 ④くりのみ園利用者Hさんの現状報告等 ⑤今後の理事会等の開催日程の確認

#### 4 法人委員会の取組

各委員会の取組等は、（表-5）、（表-6）のとおりです。

（表-5）

法人研修委員会	（開催） 毎月1回	目的「法人事業所・スタッフのスキルアップを統括する」 ・実践報告会（11月26日）、公開講座（8月1日）の企画運営を行った。 ・法人研修の実施管理（階層別研修・安全運転・ハラスメント研修）を行った。 ・コンサルテーション実施管理（川崎医療福祉大学 小田桐先生）を行った。
事故防止委員会	（開催） 3ヶ月に1回	目的「各事業所の安心・安全な運営をめざす」 ・9月26日にHさんの事故に関する全体研修を開催し、再発防止と事故 検証委員会からの提言を確認した。

		<ul style="list-style-type: none"> <li>各事業所の事故、ヒヤリハット、気づきの件数、内容の共有及び分析と対策を協議し、各事業所へフィードバックを行った。</li> </ul>
虐待防止委員会	(開催) 3ヶ月に1回	<p>目的「利用者の人権を守り、虐待や不適切な支援を起こさない組織や事業所をめざす」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スタッフ自己評価による不適切な支援(グレーゾーン)への意識向上を図った。</li> <li>おおざとの虐待事案について検証し、各事業所へフィードバックを行った。</li> <li>身体拘束に関して議論を深め各事業所へフィードバックを行った。</li> </ul>
非常対策委員会	4月、6月 9月、3月	<p>目的「防災等に備え事業継続できる体制を構築する」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>BCP(事業継続計画)の策定を行った。</li> <li>コロナ禍における、今後の対応について協議した。</li> <li>安否確認運用及び訓練を行った。</li> </ul>
学卒採用委員会	5月、6月 7月、8月 10月、11月 1月、2月	<p>目的「新規学卒者の人材確保に努める」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>F2F福祉フェア、大社協就職フェアに参加し、法人説明会へ誘導した。</li> <li>大学訪問(桃山学院大学、関西福祉大学)を行った。</li> <li>内定者のフォローアップ(研修会、座談会、内定式)を行った。</li> </ul>

(表-6)

<p>第7回社会福祉法人 四幸舎和会 実践報告会</p> <p>と き：令和2年11月28日(土)</p> <p>ところ：能勢町浄るりシアター小ホール</p>
<p>報告1『TTAPの評価から支援を考える』—学習スタイルの理解—</p> <p>発題者：豊川(おおざとの赤いやね)</p>
<p>報告2『適切な支援とは』</p> <p>発題者：芦田(セブン&amp;チェリー作業所)</p>
<p>報告3『未来のための第一歩』</p> <p>発題者：西川友(くりのみ園)</p>
<p>報告4『自立した生活に向けて』</p> <p>発題者：水谷(くりのみ園)</p>